



かわい

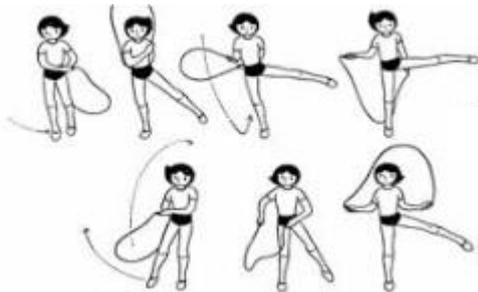


<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/> (HP 随時更新中!)

「よさ」に気付く

校長 窪田 剛久

保護者の皆様、先日は「川井っ子パフォーマンス」にご参観いただき、誠にありがとうございました。今年度は、コロナ禍の影響もあり、運動会に代わり、演技発表会という形での開催となりました。



「川井っ子パフォーマンス」当日にもお伝えいたしましたが、今年度は当初から感染対策、リスク管理などの対応と、学習保障との両立の中、私たちが思い描いた学校運営に至らず、たくさんの歯がゆい思いを重ねて参りました。しかし私たちは、あらゆる可能性を考慮しつつ、伝統的な学校行事はできる限り実施していく方向で検討を重ねてきました。その道のりは険しく、私たちは行事の提案を何度も見直し、複数の実施

パターンを比較検討してきました。と同時に、情勢を分析し、実施可能かどうかを慎重に見極めていたため、ご連絡が1か月前のぎりぎりとなってしまい、本当に申し訳ありませんでした。

横浜市では宿泊体験学習を中止する学校がたくさんある中で、本校では自然体験学習という形で、それに代わる行事を実現させました。また、一堂に会しての音楽発表行事は開催が難しいとされる中で、感染拡大防止対策を十分にとり、入替制ではございましたが今年度も「音楽会」を実施することができました。そして先日は運動会改め「川井っ子パフォーマンス」を無事に開催することができ、数々の制限はございましたが、本当に嬉しく思っております。保護者の皆様のご理解とご協力、本当にありがとうございました。

さて、本校では「たてわり活動」を重視しています。「たてわり活動」では以下のことを目的としています。

- 互いのよさに気づき、楽しく活動できる。
- 自ら判断し、進んで行動することができる。
- 互いのよさを認め合い、思いやりの心をもって行動することができる。

先日の「川井っ子パフォーマンス」に向けて、子ども達は他学年の練習を見合い、思いや感想を伝え合い、演技を高め合ってきました。6年生は話し合い、「川井っ子パフォーマンス」というネーミングを考えたり、会場準備に力を貸したりしてくれました。活動が制限される中で子ども達が見せてくれた、互いのよさを認め合い、楽しく活動する姿、主体性を発揮し、進んで行動する姿は、「たてわり活動」の目的を、まさに達成していると言えるのではないかと思います。きっと来年度につながる大きな成果となって繋がっていくでしょう。

このように今できることに精一杯取り組んできた子ども達です。全力を尽くした子ども達を認め、「自分のよさ」に気付けるよう励まし、自尊感情を育んでいきたいと思えます。12月には「人権週間」があります。「自分のよさ」に気付くとともに、「友達のよさ」「地域のよさ」にも気づき、お互いを大切にするかわいっ子が育つよう、これからも活動を工夫していきます。保護者の皆様におかれましては、子ども達の成長を見守り、支えていただきますようよろしくお願いいたします。